

経営体の概要

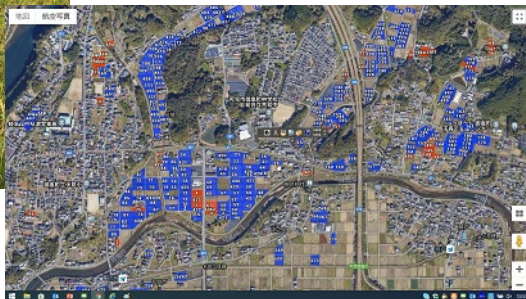
- ・所在地：岐阜県可児郡御嵩町
- ・経営体名：農事組合法人 ふしみ営農
- ・栽培作物・作付面積
：水稲51.8ha、大豆2.7ha
作業受託(水稲収穫) 32.5ha
- ・組合員数：14名
(令和5年9月現在)

導入技術

- ・食味収量コンバイン (クボタ製、DR595)
- ・クボタスマートアグリシステム (ほ場情報、稼働情報、作業記録等の管理ツール)



食味収量コンバイン
タンク内の籾重量、水分値、タンパク値
を運転席で確認



コンバインとスマートアグリシステム
の連動で、ほ場別の情報を可
視化

導入経緯

- 経営規模の拡大で、収穫作業の省力化が必要となった
【労働時間縮減が必要となる主な作業】
 - ①ほ場内の刈取作業
 - ・籾が高水分時に発生する詰まりの解消
 - ・地図にて作業ほ場を確認
 - ②籾運搬作業 (籾の効率的な積込)
 - ③作業記録の作成
- そこで令和2年度に食味収量コンバイン及びスマートアグリシステムを導入した (県単：スマート農業技術導入支援事業)

取組の特徴・効果

食味収量コンバイン導入による削減時間

738分/ha → 381分/ha **48%縮減**

- 食味センサーにより水分値を把握、適切な運転スピードを維持して、詰まり回数を減少
ICT通信ユニットで地図を電子化、ほ場確認時間が削減
【ほ場内刈取作業時間】 420分/ha → 291分/ha
- 収量センサーにより籾重量を把握、効率的な籾の積込を実現して、籾運搬の時間が減少
【籾の運搬時間】 60分/ha → 48分/ha
- 作業記録が自動的に作成されるため、作成時間が削減
【記録作成時間】 20分/ha → 0分/ha